

豆知識<その1>—市民意見交換会の意見はどのように反映されるのですか？

次回の委員会へみなさんの意見が報告されます。その後、「大橋川周辺まちづくり基本計画」を委員会が行政へ提案するまでには、数回の委員会と市民意見交換会を開催し、市民の意見を反映した計画を目指していきます。

第1回委員会：平成17年11月18日（金）
 第2回委員会：平成18年 2月21日（火）
 第3回委員会：平成18年 4月19日（水）
 第4回委員会：平成18年 7月 5日（水）
 第5回委員会：平成18年 8月10日（木）
 第6回委員会：平成18年10月31日（火）

大橋川周辺まちづくり基本方針

第7回委員会：平成19年 2月20日（火）
 第8回委員会：平成19年 5月29日（火）
本日 市民意見交換会

事業費の算出

大橋川周辺まちづくり基本計画

行政・河川管理者：大橋川周辺まちづくり基本計画策定

代替案の検討

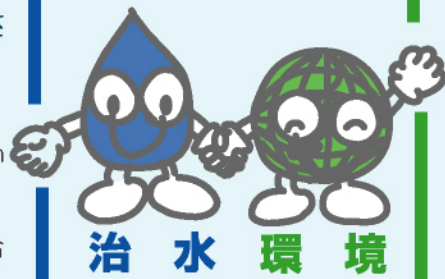
行政・河川管理者が総合的に判断し委員会へ報告

豆知識<その2>—大橋川改修の具体的内容(平成16年12月公表)のポイント

基本的な考え方 「治水と環境とまちづくりが調和する改修」

地域社会への影響を小さくすることを考えました

- ◆洪水時の穴道湖水位H.P.+2.5mに対応した堤防を築きます
- ◆掘削を優先します
- ◆その上で、断面が不足する場合は、拡幅を行います



治水環境



まちづくり

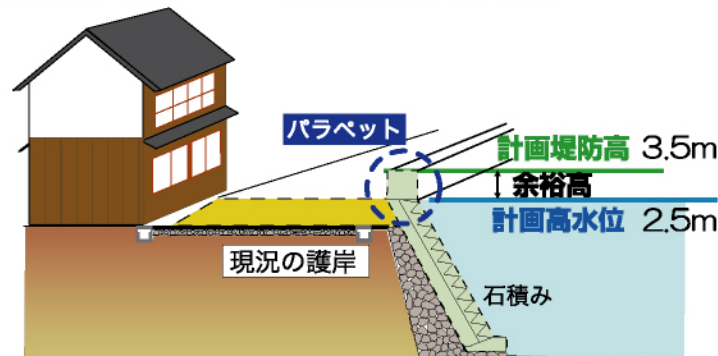
生物の生息・生育への影響を考慮し、穴道湖と中海の汽水環境の変化を小さくする河道を考えました

- ◆大橋川内にあるマウンドを保全します
- ◆掘削はH.P.-3.5mまでとします

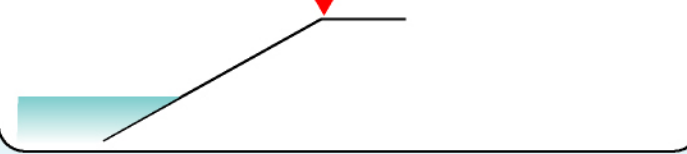
国際文化観光都市「松江」にふさわしいまちづくりを

沿川のまちづくりと調和した計画となるよう、大橋川周辺のまちづくりや景観や水辺の利活用等について、地域の皆様方のご意見を踏まえて決定します

洪水時の水位とは・・・計画高水位2.5mです。

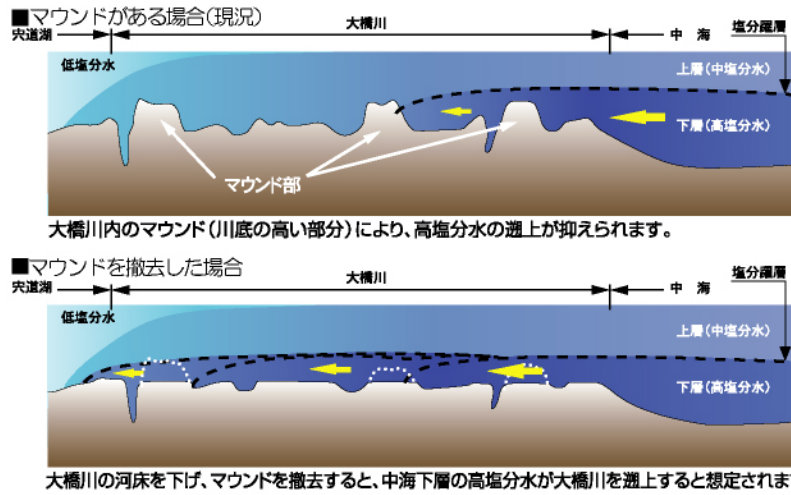


法線とは・・・堤防の肩の部分のことです。



マウンドを保全する理由とは・・・

穴道湖・中海の塩分濃度の違いは大橋川が両湖の間にあることで維持されています
 両湖の異なる汽水環境を維持するためには、中海からの塩水遡上の変化を最小限にする必要があります
 そこで、穴道湖全体の水環境に配慮するため、大橋川のマウンドを保全します



[上流部(橋南側呑み口部～くにびき大橋付近)] 治水の考え方

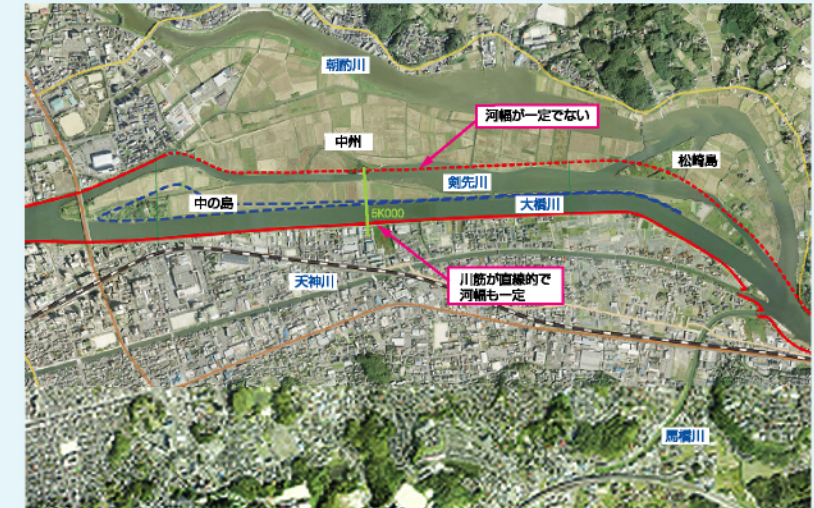
- ◆水位上昇による浸水を防ぐために、堤防を築きます
- ◆断面を確保するために、掘削を行います
- ◆河岸の線形が凸凹して流れが悪くなっている橋南側を約20m拡幅します
- ◆橋南側呑み口部は、川幅が急激に縮まる部分をなめらかにします



呑み口部～新大橋間で橋南側を約20mの拡幅を行います。

[中流部(くにびき大橋～朝酌川合流点付近)] 治水の考え方

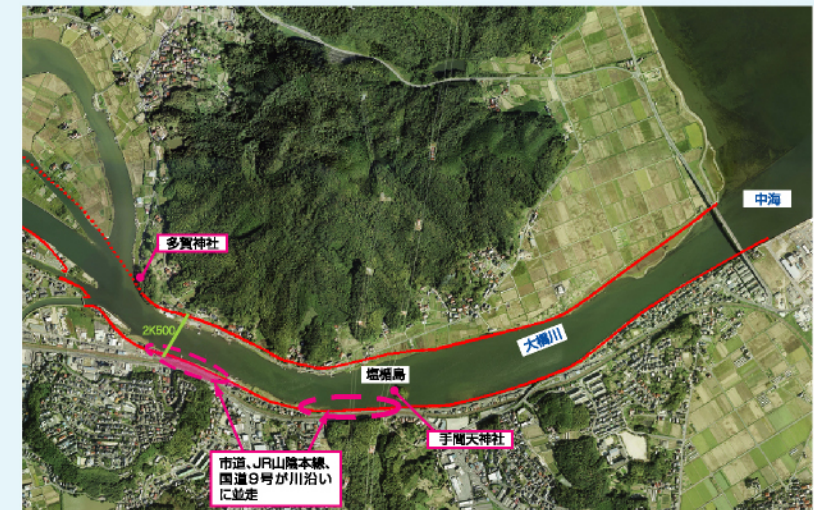
- ◆大橋川は現状を重視します
- ◆水位上昇による浸水を防ぐために、堤防を築きます
- ◆剣先川は、現状の川筋に添った掘削を行い、さらに狭い部分は拡幅を行います



大橋川は現状を重視し、剣先川で現状の川筋に沿った掘削、さらに河幅の狭い部分の拡幅を行います。

[下流部(朝酌川合流点～大橋川河口付近)] 治水の考え方

- ◆水位上昇による浸水を防ぐために、堤防を築きます
- ◆地域社会への影響を少なくするために、掘削を優先します
- ◆流れの主流がくる南側を極力拡幅し、それでも断面の不足する部分では、北側も拡幅します



朝酌川合流点より下流の河幅の狭い部分について、掘削及び両岸で約40mの拡幅を行います。